

スタートコーチ資格概要

公益財団法人日本ソフトボール協会
指導者中央研修会
2022.4.30
指導者委員会 栗山利宏

スタートコーチの創設

コーチ1よりも取得しやすい（集合講習会の時間数が短い）資格として「スタートコーチ」を新設しました。

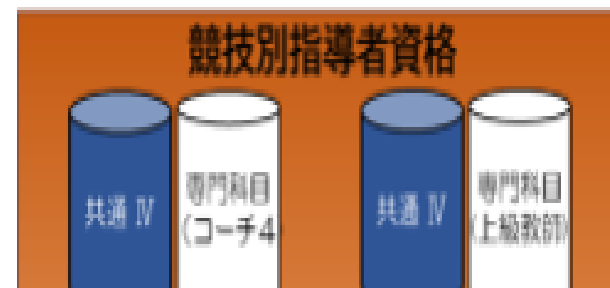
スタートコーチ：地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校運動部活動等において、必要最低限度の知識・技能に基づき、当該競技の上位資格者と協力して安全で効果的な活動を提供する者

養成団体：中央競技団体および同加盟・協力・関係団体

※実施に伴う手続き（申請・報告）は中央競技団体

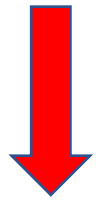
受講科目：共通科目スタートコーチ15h＋専門科目4h以上

※集合講習会は7時間30分（昼食時間除く）



コーチ1講習会との違い

- 共通科目も協会でも実施できる



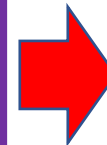
共通科目15時間 ただし集合研修時→3.5時間

集合講習時間 7.5時間(共通3.5 専門4)

【課題】

共通科目を誰が担当するのか？

ソフトボール実技科目との違い
コーチングに関する内容



共通科目を担当できる者
コーチデベロッパー



都道府県スポーツ協会に問合せる
日本ソフトボール協会
(現在:栗山のみ資格保有)

もしくは

各都道府県指導者委員長が担当

コーチ1講習会との違い

- 開催準備(会計含む)は協会で実施する

【課題】

受講者自身が日本スポーツ協会指導者マイページを作成する必要

実施者(都道府県協会)への受講者情報の伝達時期が開催間際

具体的事例 申込者の受講料納入確認方法(事前納入の場合)

正規の申込者以外が会場に来る可能性

(指導者マイページによる申し込み)

JSPPO承認まで時間を要する←試合登録時の対応はJSAで統一

公認ソフトボールスタートコーチ
資格概要

2021年4月1日現在

主催		公益財団法人日本スポーツ協会 公益財団法人日本ソフトボール協会		
養成目的		地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校部活動等において、コーチングアシスタントとして活躍できる指導者の養成。		
役割		発育発達期の子どもたちに対し、様々な運動経験と遊びを通した身体づくりと動きづくりを主眼においた指導にあたる。		
養成講習会に係る内容	受講条件		受講年度の4月1日現在満18歳以上で、スポーツクラブ等においてソフトボール競技の指導にあたっている者。又はこれから指導者になろうとする者。 原則、都道府県ソフトボール協会および日本ソフトボール協会が認めた者	
	受講科目	共通科目	共通スタート(15h)	
		専門科目	専門科目(4h) ※別紙カリキュラム表参照	
	受講料	共通科目		
		専門科目		
		スタートコーチ	実施競技団体によって定める	
	実施方法	共通科目	別に定める共通科目実施要領に基づき実施競技団体が実施する	
		専門科目	<ul style="list-style-type: none"> ■講習会 集合講習4時間、その他3.5時間とし、都道府県ソフトボール協会が実施 ■検定試験 技能検定もしくは筆記試験等による判定 ■審査 日本ソフトボール協会の指名する各都道府県ソフトボール協会指導者委員会委員長の判定を、日本ソフトボール協会指導者委員会において審査する。 ■免除要件 なし 	
	登録に係る内容	登録料 (4年間)		基本登録料:10,000円
				資格別登録料:10,000円
初期登録手数料(初回登録時のみ):3,000円				
資格有効期限の6か月前までに、最低1回は、日本ソフトボール協会が定める研修又				

公認ソフトボールスタートコーチ

2021年4月1日現在

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
① 基礎理論	①	ソフトボールの歴史と情勢(専門科目)	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	②	ソフトボールの特性とルール(専門科目)	1.00 h	1.50 h	2.50 h
	③	指導者のあり方(専門科目)	1.00 h	2.00 h	3.00 h
	④	コーチに求められる知識とスキル(専門科目)	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	小計		4.00 h	3.50 h	7.50 h
			4.00 h	3.50 h	7.50 h

公認スポーツ指導者登録料

公認スポーツ指導者として登録し、認定を受けるためには、登録料を納入しなければなりません。

登録料は、資格有効期間の4年ごとに4年分一括で納入いただきます。

*スポーツリーダーは永年認定のため、登録手続きおよび登録料の納付は不要です。

*サッカー・バスケットボール資格については、資格登録管理を日本サッカー協会・日本バスケットボール協会が行っております。資格登録についてはそれぞれの競技団体へお問い合わせください。

登録料の算出方法

登録料には、以下の種類があり、これらの合計金額を納入いただく必要があります。

■ 基本登録料 : 10,000円 / 4年間

保有資格の種類や数に関わらず、一律10,000円 / 4年間となります。

■ 資格別登録料 : 資格により異なる

保有する資格の種類によって異なります。

* 詳細は[こちら\[PDF\]](#)。

* すでに取得している資格の有効期間内に別の資格を取得した場合、新たに取得（追加）した資格の「資格別登録料」を有効期間に応じた期割（4年8期）で納入する必要があります（「基本登録料」は必要ありません）。

■ 初期登録手数料 : 3,000円 / 1資格

3. 当協会主催の公式試合（都道府県予選大会・地区予選大会を含む）に出場する場合の資格。

◎公認ソフトボール・スタートコーチ以上の資格適用種別（種目）

- ・生涯種別（小学生、中学生、エルDEST、エルダー、レディース、壮年、実年、シニアハイシニア、一般男子、教員）
- ・学生種別（高校）

※学生種別（高校）で、国民体育大会に出場する監督は公認コーチ1以上の資格が義務。

※公認ソフトボール・スタートコーチ資格は、原則所持者とするが受講本申込手続完了の者も現状同様の扱いとする。

◎公認コーチ1以上の資格適用種別（種目）

- ・競技種別（クラブ、実業団チーム）
- ・学生種別（大学）

※学生種別（大学）で、学生が監督をする場合はソフトボール・スタートコーチ資格で可。

公認スポーツ指導者認定者数

令和3年10月1日現在

スポーツ指導基礎資格	スポーツリーダー（※）	424,305名
	コーチングアシスタント	7,392名
競技別指導者資格	スタートコーチ	1,042名
	コーチ1	118,773名
	コーチ2	11,047名
	コーチ3	23,397名
	コーチ4	6,710名
	教師	2,843名
	上級教師	1,034名
フィットネス資格	スポーツプログラマー	3,233名
	フィットネストレーナー	431名
	ジュニアスポーツ指導員	4,428名
メディカル・ コンディショニング資格	アスレティックトレーナー	4,729名
	スポーツドクター	6,515名
	スポーツデンティスト	566名
	スポーツ栄養士	432名
マネジメント資格	アシスタントマネジャー	5,567名
	クラブマネジャー	377名
旧資格	スポーツトレーナー1級	21名

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者認定状況
(2021年10月現在)

表3. 競技(種別)・資格別認定者数

(人)

競技(種別)	資格		スタートコーチ	コーチ				教師		合計
				コーチ1	コーチ2	コーチ3	コーチ4	教師	上級教師	
1 陸上競技			-	3,883	72	1,068	191	-	-	5,214
2 水泳			-	8,304	1,298	3,005	853	2,027	413	15,900
3 サッカー			-	30,026	0	6,853	2,850	-	-	39,729
4 スキー	スキー		-	606	1,703	82	12	213	234	2,850
5		スノーボード	-	0	0	9	11	-	-	20
6 テニス			-	2,062	1,160	357	251	274	118	4,222
7 ボート			-	402	2	302	76	-	-	782
8 ホッケー			-	95	0	621	108	-	-	824
9 ボクシング			-	4	0	363	16	-	-	383
10 バレーボール			783	16,590	774	627	482	-	-	19,256
11	体操	体操	-	524	138	1	-	-	-	663
12		体操競技	-	0	0	723	46	-	-	769
13		新体操	-	0	0	551	31	-	-	582
14		トランポリン	-	0	0	114	-	-	-	114
15 バスケットボール			-	11,098	0	975	346	-	-	12,419
16 スケート			-	422	0	219	47	76	-	764
17 レスリング			-	359	1	1	21	-	-	382
18 セーリング			-	211	92	247	89	-	-	639
19 ウエイトリフティング			-	200	-	123	55	-	-	378
20 ハンドボール			259	1,073	36	631	105	-	-	2,104
21 自転車競技			-	247	0	392	46	-	-	685
22 ソフトテニス			-	2,725	292	278	17	-	-	3,312
23 卓球			-	1,379	1,037	730	87	-	-	3,233
24 軟式野球			-	2,753	0	412	-	-	-	3,165
25 相撲			-	296	0	0	-	-	-	296
26 馬術			-	89	0	338	-	-	-	427
27 フェンシング			-	578	0	105	42	-	-	725
28 柔道			-	532	0	372	39	-	-	943
29 ソフトボール			-	11,491	562	425	57	-	-	12,535
30 バドミントン			-	2,302	478	382	84	-	-	3,246
31 弓道			-	5,831	490	62	-	-	-	6,383
32 ライフル射撃			-	2	0	273	14	-	-	289
33 剣道			-	1,759	236	-	-	-	-	1,995
34 近代五種			-	0	0	16	4	-	-	20
35 ラグビーフットボール			-	1,076	46	1,045	100	-	-	2,267
36	山岳・スポーツクライミング	山岳	-	945	814	52	52	-	-	1,863
37		スポーツクライミング	-	516	111	17	6	-	-	650
38 カヌー			-	197	7	306	21	-	-	531
39 アーチェリー			-	724	13	37	-	-	-	774
40 空手道			-	2,257	1,363	738	455	-	-	4,813
41 アイスホッケー			-	404	0	-	4	-	-	408
42 銃剣道			-	675	35	-	-	-	-	710

スタートコーチ実施

ソフトボール
バレーボール
ハンドボール
陸上
山岳
トライアスロン

スタートコーチ講習会実施にあたり注意していること

- ・受講者は資格取得のために参加している。私の話を聴きに来ているわけではない
 - アイスブレイクを丁寧に行い、内発的動機を高める雰囲気づくりを行う
- ・グループワークの導入。アクティブラーニング(受講者の活動)を多くする
 - 受講者の講習会への参画意識を高める。資格保有の意義づけにもなる。
- ・受講者の指導対象や受講者の競技レベルを理解する
 - できるだけ実技時間は少なく。グループワークを多く取り入れる

本日の講習会体験

- ・スタートコーチ概要
(体験後にブロック別協議)
- ・アイスブレイク
- ・コーチング
グループワーク 3題